

西暦 2025年03月14日作成

研究に関する情報公開について

下記の研究は、福岡大学人を対象とする研究倫理審査委員会から承認され、病院長の許可を得て実施するものです。
インフォームド・コンセントを受けない場合において、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」第4章 第8.1に基づき、以下の通り情報公開いたします。

研究課題名	甲状腺機能を用いた有熱けいれんにおける急性脳症の予測
研究期間	病院長の許可日 ～ 西暦 2026年03月31日
研究責任者	小児科 助教 古賀 信彦
試料・情報の収集期間	<input type="checkbox"/> ：新たな情報を取得する場合 病院長の許可日 ～ 西暦 年 月 日 <input checked="" type="checkbox"/> ：既存試料・情報を利用する場合 ■後向き期間：西暦 2018年01月01日 ～ 西暦 2022年12月31日 <input type="checkbox"/> 前向き期間：病院長の許可日 ～ 西暦 年 月 日
研究対象者	当院小児科で有熱けいれんで入院した方
研究の意義と目的	急性脳症は、感染などに続発する急性発症の意識障害を主症状とする症候群で、致死率は6%で、神経学的後遺症は36%の症例にみられるとされています。症状は意識障害の他にけいれんを伴うことがしばしばあることが知られています。心不全や腎不全などの全身の消耗性疾患において甲状腺機能に異常がみられることがありますが、急性脳症との関連について述べた報告はありません。今回けいれん時の甲状腺機能を評価することで急性脳症の発症を予測できるかどうかについて検討を行います。
研究の方法	急性脳症群と熱性けいれん群で入院時の血液検査で甲状腺機能に違いがないか、これまでの診療録をさかのぼり予後と比較検討します。
研究に用いる試料・情報	【情報】血液検査データ、診療録
試料・情報の提供先	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有
試料・情報の提供元	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有
情報管理責任者又は名称	小児科 助教 古賀 信彦
研究のための試料・情報を利用する者	本学：人を対象とする研究倫理審査委員会から承認され病院長から許可された研究者
個人情報の保護	収集した情報は、匿名化（どのデータが誰のものか分からなくすること）した上で本研究に利用します。国が定めた倫理指針に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
研究協力の任意性と撤回の自由	この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究に参加を希望されない方（患者さん自身がすでに亡くなられている場合にはそのご家族）は下記の問い合わせ先へご連絡ください。患者さんの情報を本研究に利用しません。ただし、ご連絡を頂いた時点で、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、情報を削除できないことがあります。不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記の問い合わせ先までご連絡ください。この研究への情報の利用を断っても、診療上何ら支障は

	<p>なく、不利益を被ることはありません。また、患者さんのご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。希望される方は下記の問い合わせ先までお申し出ください。</p>
<p>試料・情報の利用または他の研究機関への提供の停止について</p>	<p>患者さんまたはその代理人のご希望により、患者さんが識別される情報の利用または他の研究機関への提供を停止することができます。情報の利用または提供の停止を希望される方は下記の問い合わせ先までお申し出ください。</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>所属：福岡大学病院 小児科</p> <p>担当者名：古賀 信彦</p> <p>電話番号：092-801-1011</p> <p>対応可能日及び時間：平日 9時～17時</p>